デジタルフロンティアプロジェクト

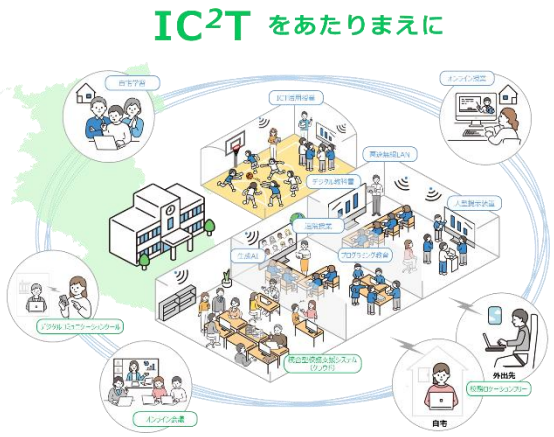
（デジタル環境の整備とこどもたちの情報活用能力向上）

現状・課題

- 予測困難で変化の激しいこれからの社会において、ICTを効果的に活用し、新たな価値を創造できる人材の育成が急務となっています。
- 国のGIGAスクール構想等により公立学校における１人１台の端末整備は進んだものの、日進月歩のデジタル技術に対応するための環境更新や、高度なネットワーク環境の維持には多大なコストがかかります。
- 地域間や家庭環境による「デジタル・ディバイド（情報格差）」を生じさせず、県内のすべてのこどもたちに公平で質の高いデジタル学習機会を提供する必要があります。
- ネットいじめや情報漏洩を防ぐため、こどもたちの情報モラル（リテラシー）の向上や、教員のICT活用指導力のさらなる向上が必要です。

取組

- **最新のデジタル学習環境の整備・拡充**
  - 学習用端末の計画的な更新や、各教室の電子黒板、高速大容量ネットワーク通信環境などの充実を図り、こどもたちの快適な学習環境を整備します。
  - 生成AIサービスを始め、必要とされる学習ソフトウェアを導入し、児童生徒一人ひとりの理解度に応じた「個別最適な学び」を提供します。
- **こどもたちの情報活用能力・プログラミング的思考の育成**
  - コンピュータやネットワークの仕組み、社会の動きについて、基礎的な知識を身に付けさせる「きのくにICT教育」を充実させ、こどもたちの情報活用能力・プログラミング的思考を育成します。
  - 情報モラル教育を強化し、デジタル社会を生き抜く力を育みます。
- **教員のICT指導力向上**
  - デジタル機器やソフトウェアを効果的に授業に取り入れるための教員向け研修を拡充し、県全体の教育の質（ティーチングスキル）を向上します。



寄附金の使途

- デジタル端末（タブレット・PC等）、周辺機器、電子黒板等の購入・更新費用
- 教育用ソフトウェア、学習支援ツール等のライセンス費用
- 教員向けICT研修の実施経費　など